

(別紙4-2)

## 目標達成計画

事業所名 グループホーム めぐみの

作成日： 令和 2 年 7 月 7 日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	目標達成に要する期間
1	6	【身体拘束をしないケアの実践】 身体拘束・虐待防止委員会の議事録は、会議参加者、各ユニットからの報告や検討事項を簡条書きで記載全職員への閲覧、議事録の確認を行っているが全員の周知がより必要である。	身体拘束・虐待防止について学ぶ機会を作り、特定の職員だけではなく全職員が共通認識もとで、身体拘束・虐待をしないケアの実践ができるようになる	今後はより職員全員に身体拘束・虐待防止を全員に周知ができるよう、ユニットでの会議や社内研修を、ユニットでの会議や社内研修を通じて学習できる機会を増やしていく。身体拘束・虐待防止委員会での取り組みについて、再度明確な目的や目標を掲げ、更なる充実化を図る。	1年
2	26	【チームでつくる介護計画とモニタリング】 今後の高齢化や重度化を考え、より詳細なアセスメントを行う必要があり職員の意見・気づきを計画作成に活かす必要がある	アセスメントの際、担当者だけではなくスタッフや機能訓練士等も参加し今後の重度化を考えたアセスメントを実施できるようにしていく。	参加可能な全職員でのアセスメントは勿論、ホームに定期的に訪問していただいている機能訓練士や薬剤師、訪問看護師などからも積極的に情報を収集しアセスメントを行う。ユニット会議等で、各職員からの情報を元にアセスメントを行い、スタッフ全員がアセスメントシートに落とし込んでいくような仕組みを作っていく。	1年
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。

株式会社ソーシャルリサーチ